

地域とけんみん信組をつなぐ情報誌『ぱーとなーず』

VOL.
68
2024.3



ARTNERS

Free Paper



2月16日
山梨県民信用組合は
合併20周年を迎えました。



ご意見・ご感想を
お聞かせください

皆様のベストパートナーをめざして
山梨県民信用組合



本誌の
バックナンバーが
ご覧になれます



数字でみる組合の20年

山梨県信用保証協会と連携し支援を強化しました。



『ぱーとなーず』で多くの企業、団体を紹介しました。
掲載数 延べ 662企業、団体

『ぱーとなーず』で多くの組合職員を紹介しました。
掲載回数



『不易流行』

2025年2月16日、山梨県民信用組合は合併20周年を迎えました。少し古いデータになりますが、企業の生存率は1年後で約97%、5年後には82%、10年後には70%そして22年後にいたっては約50%まで下がるといって2011年の統計があります。社会的、経済的な変化に対応できず存続できなくなる企業が多くある中で、20年にわたり組合員の皆様に頼られてこられたことを大変うれしく思います。

企業が長く存続するための方策の一つとしていわれるのが「不易流行」です。時代が変わっても変えるべきではないものが「不易」で、時代が変われば変えていくべきものが「流行」です。大事なものは変えずに、時代に合わせて変えるべきものを変えていくことが必要だというのですが、山梨県民信用組合にとって、変えてはならない「不易」は、相互扶助、共存共栄の精神を基本理念とする信用組合であることであり、変えるべき「流行」は、組合員の皆様のニーズに応じてサービスを変化し、提供していくことだと思います。

時代は変わっていきませんが、不易流行をしっかり見極め、今後もお客様に寄り添い、質の高い金融サービスを提供してまいります。



合併20周年記念 お客様感謝キャンペーン

2月～4月の3ヶ月の期間中に
ご成約いただいたお客さまに、
「ステンレスボトル」をプレゼント！



100年企業 長谷川醸造(株)



南アルプス市鏡中條の長谷川醸造(株)（長谷川正一郎代表）は、醤油製造と甲州小梅の漬物製造を2大柱とする会社で、明治39年に創業し117年の歴史を誇ります。同社の梅干しのおいしさに定評があり、シウマイ弁当で有名な崎陽軒のお弁当にも使われています。長谷川醸造の販売戦略は、まず業界の最もハードルが高いところにアタックすることで、その取り扱いは始まる、同じ業界の他社にも容易に浸透してきたといい、現在スーパー、弁当業界、生協とバランスよく売り上げがあり、コロナ禍においても、縮む業態があれば伸びる業態もあり大きな打撃には至らなかったとのことです。



創業時から味噌、醤油を作ら、1ℓ200円で醤油が売られていた昭和30年過ぎに、大手メーカーの醤油がスーパーで1ℓ100円で売られるようになったと、長谷川醸造は醤油漬など培った漬物の技術を生かして、山梨特産の甲州小梅の漬物製造を始めました。小梅は「青いダイヤ」と称されそれまで苦しめられたスーパーの店頭に並び、長谷川醸造は見事時代の変化に対応しました。

長谷川代表は、自らを向上心が強いといい、セミナーや勉強会等に出席し時代の流れを知り、また、様々な機会を通じて他の企業の良いところを学んでいて、マッチング展示会などで、他社の商品を説明させれば、当事者より上手く説明できる自信があると笑います。そして、長く続く企業は、時代の変化に応じて、業種を変えたり取り扱う商品を変えているといいいます。現在の長谷川醸造を健康食品提供業だといいい、梅干しだけでなく梅を使った食品を数多く製造してきています。小梅の生産量が減り、仕入れられる量が少なくなる中での変化でもありません。その中で現在のイチ押しは梅の香りを大切にしたい辛い梅酢ソース「梅酢香」。しっかり辛く、すっきり酸っぱい辛さ、辛み・うま味・酸味の美味しさ三拍子と長谷川代表が胸を張ります。



最後に、山梨県民信用組合は合併で苦しい時期も経験したが、一つとなってますます頑張ってほしいと合併20周年に対して激励の言葉をいただきました。



20年職員

Check! 私の♡おし店



ラーメン膳次郎

開店から変わらぬ人気があるラーメン屋さん。中でも私のイチ押しはシャキシャキもやしが入った「焙煎熟成みそラーメン」です。自家製の味噌を使用しており、濃厚なスープが最高です。他にも七分目ランチ、お子様ラーメンなどメニューも豊富にあり、女性やお子様でも楽しめるお店です。甲府南西店、竜王パイパス店の2店舗ありますので、是非お立ち寄りください。



【甲府南西店】
甲府市下石田2-22-2
【Tel】055-228-0976
【竜王パイパス店】
甲斐市富竹新田1259-1
【Tel】055-260-7017



瓦屋

昭和46年に創業した瓦屋さんは、無添加・手作りにこだわり、四季折々の和菓子をつくるお店です。私も妻も子供の頃に100円を握り締め、草餅を買いに訪れていたたいへん馴染みのあるお店でもあります。上品で甘さ控えめな餡子を使った数々の和菓子は絶品で、焼き団子やロールケーキ、苺大福は私の子供も大好きです。私のイチ押しはプチプチえごま。でも、いつも何を選ぼうか目移りしてしまう楽しいお店です。



南アルプス市小笠原1603
【Tel】055-284-2100
【営業時間】9:00～19:00
【定休日】月曜日

山梨県民信用組合の歩み

平成
16.2

山梨県民信用組合営業開始

21.9

経営強化計画策定
(国の支援による増資)

リーマンショック発生 (H20.9)

H20.11
本店営業部移転

21.10

総合相談
センター開設



緊急保証制度融資
H20~H23



24.7



情報誌
『ぱーとなーず』創刊



東日本大震災発生 (H23.3)



29.5

けんみん信組
経営者クラブ設立



マイナス金利導入 (H28.1)

H30.5
青沼支店新設

30.8

経営改革プラン策定
(不良債権処理)



H31.4
移動店舗車導入

30.12

女性営業職員配置

新型コロナウイルス感染症流行 (R2.1)



令和

2.4

法人融資課新設



不良債権比率
6.4% R3.3

コロナ関連保証融資
R2~R4

R3.8
御勅使・白根支店
新築移転

5.2

コンサルティングマ
ネージャー・コンサル
ティングオフィ
サー配置



黒字転換
R4.3



R5.11
昭和支店新築移転

5.4

お客様サポートセンター
開設



6.2

山梨県民信用組合合併20周年



(有)土地ネット・やまなし



南アルプス市下今井の(有)土地ネット・やまなしは、デニムのジャケットが似合うお洒落な名取恭介代表が単独で経営する一人会社の不動産屋です。これまで、従業員を雇えばもっと会社を大きくできると周囲から再三勧められてきましたが、自分ですべてをやるのが性に合っている、またこれが分相応と一人で頑張っているうちに、気が付いたら20年が過ぎたといえます。

名取代表は、バブル景気が沈静化した頃、人を育て独立させることを方針とする県内の不動産会社に入社し、建築士の資格を取得して、建売分譲の部門で力を発揮してきました。17年間勤務した後、42歳の時に独立し、現在ほどのネット社会ではなかった当時、時代の先を見通しネットを通じて不動産情報を発信していこうと、会社名を「土地ネット・やまなし」としました。

独立当初は、会社に体力がなく得意とする分譲の仕事はできず、また、大きな広告を打つことができなかったことから、自社が持つ情報をこまめにハウスメーカーにメールで送り、仲間の持つ情報をネットで流すなどし、また山梨県不動産協同組合(Yランド)に加入して、地道に土地仲介の仕事に励んできたそうです。やがて、会社に体力が付き自社が売主となる分譲の仕事ができるようになると、自分に息子にも購入を勧められる物件を分譲することをモットーに、建築士の知識を生かし効率的に区画し、いずれの画地も住み心地の良い家を建てられる分譲地を提供してきました。不動産業者の仲間からの信頼も厚く、名取代表は地元に着する不動産業者として、お客様からクレームを受けたことがないと胸を張ります。

今後も、不動産業に進連していきますが、後継者はまだ決めてなく、当面は、副理事長の職にある山梨県不動産協同組合で、組合に加入している若い人たちにこれまでの不動産業の経験を伝えていきたいと話しています。



南アルプス市下今井13-4
[Tel] 055-284-7370

PHメンテナンス(株)



韮崎市のPHメンテナンス(株)(大柴一美代表)は、20年前、新築、リフォームを手掛けるため同級生3人で始めた会社です。大手の住宅メーカーに長年勤務した後塗装会社の店長等を経て、大柴代表51歳の時、家族の反対を押し切って地元韮崎で立ち上げました。会社設立の年に商号登記の規則等が改正されローマ字を用いることができたことになったことから、会社名にはローマ字を使おうとピースホーム(幸せな家)の略の「PH」の文字を入れました。

会社は順調に住宅建築の注文を請け負っていきませんが、再生可能エネルギーの買取制度が始まり太陽光発電の時代が来ることを感じると、幾つかあるメーカーの中から京セラを選びフランチャイズに応募し、見事合格します。自社で建築した家をはじめ住宅にソーラーの設置を勧め、土地を購入し太陽光発電設備を設置して売電し、事業は、神奈川、長野、群馬など県外にも及び、大柴代表は現地を走り回り、全ての設置場所を自ら決定したといい、その数は100ヶ所を超えています。こうした獅子奮迅の働きの結果フランチャイズ店として、3年連続ぶっちぎりで全国一の売り上げを誇り、ピーク時には従業員が270人にも上りました。太陽光の次は農業です。株式会社でも農地を取得できるようになったことから、別会社を設立し、全部で60町歩の農地を取得しています。農業が成り立つよう農地を集積し、機械を導入し、研究を重ねて通年で作物ができるよう多品種の野菜の営農計画をたてています。

大柴代表は、会社設立は老後までの食い扶持を稼ぐためだったといいますが、時代の変化、制度の変化を感じ、精力的な働きで会社は大きくなりました。事業承継を見据えながらやるべきこともたくさんありますが、一方で風力発電などやってみたいこともいっぱいあるそうです。長く続いた老舗は変化に踏み切れないが、PHメンテナンスは変化を恐れないといい、30周年には何をやっているかわからないと話します。



韮崎市本町1-9-10
[Tel] 0551-23-3635



(有)戸島造園興業

甲斐市西八幡の戸島造園興業(有)(戸島憲一郎代表)は、庭造りや緑化、土木工事を手掛ける会社です。鹿児島県薩摩川内市の出身で、子どもの頃から木が好きだった戸島代表は、山梨県内の親方のもとで修業し、お客様に喜ばれる仕事をしようと27歳の時に独立し、植木屋を始めました。事業は拡大し20年後に会社を興し、さらに土木工事も手がけることから社名を戸島造園から戸島造園興業に変更し、現在従業員6人を抱えるまでになり今年創業20周年を迎えます。

先輩も同級生もいない山梨の地で独立し、当初は無尽に入ろうとしても断られる状況で、戸島代表は、未だ信用が足りず男を磨かなければ仲間に入れてもらえないと、ひたすら仕事に励んだそうです。やがて、努力が認められ無尽の仲間に入れられると、人が好き、薩摩隼人でお酒が好きという戸島代表は、いくつもの無尽に入り、人脈と信用を広げ、仕事を増やしてきました。現在でも、両手に余る数の無尽をこなす山梨の風土である無尽の付き合いを続けています。

無尽を通じて周囲も驚くほどの人脈を持つ戸島代表をみて、奥様は、無尽の仲間のつながりは宝、その仲間と先輩方に助けられ暑い日も、寒い日も一生懸命働いたのが会社が20年続いた秘訣ではないかといえます。

真面目に働く戸島代表の姿は、従業員にも伝わり、戸島造園の従業員は大変評判がよく、お客様からも褒められるそうです。戸島代表は、20年続いたのは、よく働いてくれる従業員のおかげと、感謝してもらえないといえます。

最近木を植える仕事より木を切る仕事のほうが多いと苦笑いをする戸島代表ですが、これしかないと思いついてこれからも造園業を頑張っていきます。



甲斐市西八幡4158-6
[Tel] 055-276-8788

リーダーの心得②

山梨県民信用組合
顧問 入野 敏彦

寛かんにして畏おそれられ、嚴げんにして愛あいされる

『宋名言行録』

組織管理のコツは、「嚴」と「寛」のバランスをとることであるとされています。「嚴」とは、厳しい態度、信賞必罰の方針です。しかし、「嚴」の一点張りでは臨むと、命令に従わせることはできません。心服はされません。そこで必要になるのが、「寛」です。「寛」は、寛容な態度です。温情主義と言ってもよいでしょう。しかし、「寛」一点張りでは臨むと、こんどは組織の中に緊張感が失われ、甘えの構造が出てくるようになり、そうならないためには、どこか一本、「嚴」の要素を貫いておく必要があります。その際、「寛」で臨むと愛され、「嚴」で臨むと畏れられるのが、一般であります。だが、それは、まだ低いレベルで、その逆が理想なのです。それを語ったのが、この言葉なのです。「寛」にして畏れられ、「嚴」にして愛される…。いつの時代でも、リーダーは、このレベルを目指して努力をしなければなりません。

我わに諂てんする者は吾わが賊ぞくなり

『荀子』

「諂諛」は、こびへつらうことを意味します。耳にこごちよい甘い言葉を持って近づいて来る者は、みんな賊のような者だといえます。なぜならば、つい、その気になってのぼせあがり、自分を見失ってしまうからです。このことは、特に、人の上に立つ者が、自戒しなければならぬ事です。おべっかや甘い言葉に弱いのは、人間の悲しい性であります。さつこい事を言ってくる相手よりも、心をくすぐるような事を言ってくる相手を引き立てたくなるのが、人情としての自然の流れであります。どんな組織においても、そのようなケースが少なくありません。ところが、リーダーたる者が、それをやっていたのでは、二重の意味で不幸であります。第一に、自分自身を駄目にさせてしまいます。甘い言葉だけを聞かされていたのでは、進歩も向上も望めないからです。第二に、それは軽重の判断を誤る元であり、その結果、その判断を押し通せば、組織までを駄目にさせ、組織を荒廃させてしまうからです。リーダーたる者、決して、「諂諛」の言行に惑わされてはなりません。